

## 第2回 霧島市中小零細企業振興会議 議事要旨

開催日時	平成28年2月10日(水) 10:00~11:30
開催場所	国分公民館 3階 大研修室
出席委員	前田 義朗 会長、加藤 信幸 副会長、稲垣 知成 委員、大山 隆弘 委員、清水 誠 委員、瀬戸 雄作 委員、西重 保 委員、古川 浩史 委員、前田 美千代 委員、山田 まゆみ 委員、山之内 誠 委員、
事務局	谷口 商工振興課長、野崎 主幹兼商工観光政策グループ長、有菌 主任主事

### ○議題

- (1) 今後の振興会議の進め方について
- (2) 事業者支援についての課題、事業者が抱える問題点、支援ニーズなどについて

### ○議事

- (1) 今後の振興会議の進め方について、事務局から、資料2に基づき説明を行った。結果、事務局案のとおり了承された。
- (2) 事業者支援についての課題、事業者が抱える問題点、支援ニーズなどについて、事前にいただいたご意見(資料3)について各委員から説明。その後会議内でいただいた意見の概要は以下のとおり。
  - ・既存の制度について周知できていないというのが共通の意見である。
  - ・創業者(特に若い人たち)がどこに相談に行けばいいのか分からない。
  - ・展示会等に参加すれば、取引先の企業の部長さんなどに単刀直入に話ができて、受注に繋がるのに、展示会等の参加に手が挙がらないと聞く。政策を知らない人が多いのと、提出書類が多いのがネックになっているのではないかと。
  - ・鹿児島高専では、鹿児島に残りたい、帰って来たいという生徒が60数%いる。海外進出も誘いがあるが、英語がしゃべれずコミュニケーションができないので、そのような学生さんを探していきたい。
  - ・企業どうし、企業と行政のつながりが薄いように感じる。この会議をきっかけに、パイプ、ネットワークを作っていければと考えている。

・大企業と中小企業の連携が少ない理由としては、大企業の求めるレベルに追いついていないというのが大きな原因ではないか。

・大企業の誘致はどの市でもやっているが、それだけで終わっているのではないか。大企業も全て自社工場でまかなっているわけではないので、下請けの企業も併せて誘致するとか、もしくは地元の下請け企業とのマッチングを行うとか、単発ではなくて、誘致により地元製造業が活性化するようにすればよいのではないか。

・霧島市の中で台湾、シンガポール、韓国、中国にたった一社で販路開拓を行っている施策をうまく活用した会社もある。国、県から賞をもらい、商品が売れている会社もあるが、どこにターゲットを絞ってどこに売るかということを研究されている。また、小さいながらも業績を伸ばしているところは、積極的に販売イベント等に出てつながりを作っているようである。

・串良の若い方のお話で、このままだと商店街がなくなるということで商店街の方に声をかけて、月に1回、空き店舗でネイルサロンなどの店を交代で開いているという取組を聞いた。活性化のために、自分の店だけで頑張るのではなく、そのような方法もあるのだと思った。

・商店街の存在意義は何かということ考えたときに、モノを売る場だけであればどこでもいい。小売、情報交換、あるいは子ども・高齢者の見守り等、商店街の位置付けを考えていかなければならない。

#### ○今後の対応等

- ・会議でいただいた意見は、事務局で検討シートに再度整理し、第3回までにお示しする。
- ・第3回は4月中旬～下旬を予定。

#### ○会議資料

- ・(資料1) 第2回霧島市中小零細企業振興会議 会次第
- ・(資料2) 今後の振興会議のスケジュール (案)
- ・(資料3) 市の基本方針に対する現状の整理と対応策についての検討シート
- ・(参考資料) 地域経済循環図